

【(一財)兵庫県高野連公式記録に関する表】

2014 平成26年 9月1日 公式記録委員会
2017 平成29年1月1日 公式記録委員会 改定
2019 平成31年1月1日 公式記録委員会 改定

【注】

- ・ テーブル検算を忘れずに、
総アウト数 + 得点 + 残塁 = 下と同数に
打数 + 死四球 + 犠打 + 妨害出塁(打撃妨害) = 上と同数に
- ・ タイブレークの検算、
総アウト数 + 得点 + 残塁 = 下と同数に
打数 + TR(タイブレークの走者数) + 死四球 + 犠打 + 妨害出塁(打撃妨害) = 上と同数に
- ・ タイブレーク規定、
 - ① 12回終了同点の場合、13回からタイブレークを開始する。
 - ② 打順は、12回終了時の打順を引き継ぐ、(次のイニングの場合も継続打順)
 - ③ 走者は無死、1・2塁の状態から行なう、
2人の走者は先頭打者の前は1塁、その前の打者は2塁。(走者は投手も含む)
 - ④ タイブレークは15イニングを越えても決着付くまで行なう、
1人の投手は15イニング以内とする。[同一投手 15イニング以内ならば再登板は可能]
(ダブルプレーで結果15イニングを超え場合もあるが、このイニングまで)
 - ⑤ 決勝戦はタイブレークを採用しない、15回で打ち切り 再試合と成る。
再試合の決勝戦ではタイブレークを採用する。

《参考》

- ◎ サヨナラ スクイズが成功した場合 犠打ではなく安打とする
- ◎ 9回裏(延長を含む)一死三塁でスクイズ 野手一塁へ送球アウト(サヨナラ) (打数1 打点1 内野安打)
- ◎ 9回裏(延長を含む)無死又は一死で走者三塁、打者内野ゴロ本塁に送球 セーフ(サヨナラ)
(ミスが無い場合は 野選とせずに 内野安打とする)
- ◎ 9回裏(延長を含む)無死又は一死三塁で外野へのゴロ一塁に送球アウト(打者に安打 打点1 残塁)
- ◎ 9回裏(延長を含む)一・三塁ダブルスチール 三塁走者ホームイン(サヨナラ)
(一塁走者の盗塁は記録 無し 又狭殺プレーでアウトでも一塁に残塁とする(サヨナラ))
- ◎ 9回裏(延長を含む)無死又は一死走者三塁 打者二塁ゴロ 4~3へ送球
[野手アウト カウントの勘違い 公式記録員がスタート良く本塁を認めた場合は内野安打(サヨナラ)]
- ◎ 9回裏(延長を含む)走者二塁で単打でサヨナラの場合 打者が二塁に進んでも単打(送球間の進塁)
- ◎ ダブルスチールで等で一人の走者がアウトになれば 別の走者は盗塁としない
- ◎ 走者三塁で外野飛球を落球した場合(公式記録員が犠飛と判断した場合 打者に 打数無し 打点1 野手に失策)

※ 次の場合打点を記録する

- ・安打・犠打・犠飛・内野アウト・野選、
- ・満塁での死四球・打撃妨害・走塁妨害により打者が走者と成った場合、
- ・ダブルプレーが不成立の時、(無失策)
- ・走者三塁で無死走者又は一死で打者の打球に対して失策があった場合でも本塁へスタートよく走塁した場合まともに打球を処理しても生還と公式記録員が判断した場合打点を付けても良い、

※ 打数に入れない項目

- ・犠牲バント・犠牲フライ・死四球
- ・打撃妨害・打者走者への走塁妨害

- ◎ オフザ バックの判断は必ずしもエラーではなく 公式記録員の見た通りの判断で安打でも良い
- ◎ 捕球体制の野手に 他の野手が接触して失策の場合 どの野手の失策かの判断は公式記録員の判断とする
- ◎ 野選と内野安打、犠打野選と犠打エラー等に付いての判定を特に勉強